

10連発式 輪ゴム銃

特徴

- 木工で作る10連発式の輪ゴム銃
- 使用する輪ゴム: No.16 サイズ
- 参照した P201-IO にラチェットシア自動リセット機構を組み込んだので、ワンタッチで発射プレートを戻せる。

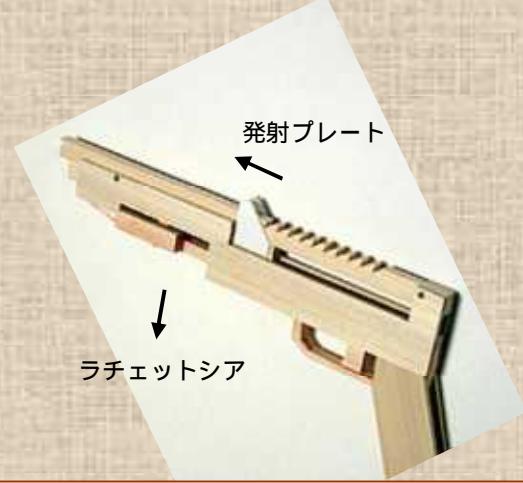
寸法 380 長 × 153 縦 × 幅 27

材料 桧、アガチス、PP

塗装 フレッシュアカアフ

費用 778 円 (塗装除く)

完成: 2012年4月



Model:P201-IO(アイオー) OGG CRAFT'S

(これが作り方を公開してくれている参照モデル)
発射完了後、ラチェットシアを押し下げて、発射プレートを原点に戻す2タッチ式(写真は原点に戻った状態)

P201-IO より上位と思われる Model P213 スクエア が気に入ったのだが、この作り方は非公開だったので、ラチェットの所だけを想像でコピーしたのが下のワンタッチ機構です。

発射プレートがこの原点位置にあると、ラチェットシアは引っ込んで、歯から外れているので発射プレートはフリーとなり、トリガーを引くとシアが飛び上がり歯に噛みます(チラッと見える白い爪の動きのことです)

10発の輪ゴムを装填したところ



側板を外したところ

10個の輪ゴムを装填後、発射プレートピンを一気に引くと、機関銃のように一斉発射することも出来ます。

尚、製作前には、矢印部の隙間は広すぎるかな?と見ていたのだが、トリガーを引いた時に指を挟まない為の間隙だったようです。

裏話

- 輪ゴムを機関銃のように飛ばしているのを、数十年前にテレビで見たことがあり、その時は「すごい人がいるなあ」程度にしか興味が無かったが、木工が多少出来るようになったので挑戦してみたくなった。
- 調べてみると“ゴム銃射撃協会”なるものが存在し、とんでもなく奥の深い人達がいることにビックリ。
- まずは、初心者向けに作り方を丁寧に公開してくれている“オッグクラフト”様のHPから知恵を拝借することにして、グリップの大きさなど、子ども達が安全に遊べるよう改良の為のたたき台を作ることにした。
- ワンタッチ機構は実現できたり、一番消耗しそうなカムはPP樹脂で作ったので動きは快調なのだが、このまま子どもに預けるには少し不安な部分もある。(ゴムを逆装填した場合の拳動や、輪ゴムの掛け易さなどを検証してみたい)
- それにしても発射する時の快感はやみつきになります。OGG CRAFT'S様、素晴らしいアイデアをありがとうございました。

輪ゴム銃 その1

(初回製作機)

